



校訓 自主・自律

学校教育目標

「心豊かで確かな学力をもち、たくましく活動する生徒の育成」



目標達成のための具体的な取り組みと、学校評価アンケートの結果

○数値(%)は、アンケート結果の肯定的評価を表しています。

*肯定的評価……アンケートの各問の肯定的な回答の割合を合計して、%で示してあります。

*アンケート中の質問の内容と数は、教職員、生徒、保護者と、対象によって異なります。

確かな学力	★わかる授業、意欲を高めるための授業改善 【職・生・保とも肯定的評価90%以上：達成】	職員 100%	生徒 98%	保護者 94%
	・話し合いや発表、対話的な学習活動の充実	職員 100%	生徒 98%	
	・個に応じた学習指導の充実	職員 75%	生徒 98%	
	★授業のデジタル化とICT機器の積極的活用 【職・生とも肯定的評価90%以上：達成】	職員 100%	生徒 96%	
	★家庭学習の取組の改善 【生・保の肯定的評価がR5を上回る：達成せず】	職員 88%	生徒 63%	保護者 63%
	・多様な学習による朝学習の充実	前年比 -12 職員 75%	生徒 -8 98%	-6
	・各種学力テストやQU分析に基づく改善	職員 73%		
	・外国語教育の充実	職員 100%		
	・豊かな学びのための有効な予算執行	職員 100%		

豊かな心	★生徒の望ましい生活習慣づくり 【職・生・保とも肯定的評価80%以上：達成せず】	職員 67%	生徒 80%	保護者 78%
	・生徒会活動や行事による充実した学校生活	職員 100%	生徒 94%	保護者 98%
	・いじめを「許さない」「させない」指導の徹底	職員 100%	生徒 98%	保護者 98%
	・「考え議論する道徳」の推進	職員 100%		
	・ボランティア活動の推進	職員 100%	生徒 85%	
	・朝読書、委員会活動による読書活動推進	職員 100%	生徒 57%	
	・自己の生き方を見通したキャリア教育の推進	職員 88%		
	・不登校を防ぐ手だて、保護者やSC等との連携	職員 89%		
	★様々な課題を抱えた生徒への対応、支援 【職・保の肯定的評価90%以上：達成】	職員 100%		保護者 100%

健康安全	・生徒自身が考えて行う健康管理	職員 89%	生徒 85%	
	・家庭と連携した健康教育	職員 89%		保護者 94%
	★情報モラル教育の推進 【職の肯定的評価80%以上：達成】	職員 100%	生徒 96%	
	・体力テスト、1校1実戦による体力向上	職員 75%		
	・安全で効果的な部活動の推進	職員 75%		
	★避難訓練、交通安全等安全教育の充実 【職・生・保とも肯定的評価90%以上：達成】	職員 100%	生徒 98%	保護者 100%
	・校内環境美化の推進	職員 78%		
	・施設、設備の適正な管理、整備	職員 100%	生徒 87%	

家庭地域連携	・小中連携の推進	職員 56%		
	・みさと学(ふるさとキャリア教育)の推進	職員 88%		
	・ホームページや各種「たより」による情報発信	職員 100%	生徒 94%	保護者 100%
	・保護者との密な連携	職員 90%		保護者 96%
	★地域学校協働本部を活用した地域連携 【職の肯定的評価90%以上：達成せず】	職員 88%		

本年度の指導重点の達成状況 (達成指標を満たしたかどうか)

項目	達成指標	達成の可否
わかる授業、意欲を高めるための授業改善	生徒・保護者・職員の肯定的評価90%以上	すべて達成
授業のデジタル化とICT機器の積極的活用	生徒・職員の肯定的評価90%以上	すべて達成
家庭学習の取組の改善	生徒・保護者の肯定的評価がR5より改善	すべて未達成
生徒の望ましい生活習慣づくり	生徒・保護者・職員の肯定的評価80%以上	職員・保護者が未達成
様々な課題を抱えた生徒への対応、支援	保護者・職員の肯定的評価90%以上	すべて達成
情報モラル教育の推進	職員の肯定的評価80%以上	達成
避難訓練、交通安全等安全教育の充実	生徒・保護者・職員の肯定的評価90%以上	すべて達成
地域学校協働本部を活用した地域連携	職員の肯定的評価90%以上	未達成

- 【生徒】・冬もストーブだけでなく、エアコンを使ってほしい。
・他学年とさらに仲を深めるためにレクなどの交流活動を増やしていくと良い。
・良い学校です。
- 【保護者】・生徒数は年々減少傾向ですが、生徒数が少ないなりのメリットもあると思いますので、町の財政状況にもよりますが、いつまでも生徒一人ひとりに目が行き届く学校教育をお願いします。
・一人一台端末をより活用していただき、個別最適な学びを、より推進していただきたいと思います。
・部活の時間が確保できていないのが残念。練習が十分でない状況で練習試合が組み込まれ、子どもたちはどう感じているだろう。
・いつも温かいご支援、ご指導をしてくださり感謝しております。
・中学校生活がとても楽しいようです。
・お便りやホームページのおかげで学校の様子がよくわかります。いつも楽しみにしています。

回答の結果と考察

(1) 全般

- ・生徒、保護者、教職員への学校評価アンケートの肯定的な回答の割合を基に考察を行った。
- ・生徒、保護者、教職員の三者に共通して言えるのが、今年度の指導重点である「家庭学習の取組」と「望ましい生活習慣」の2項目について、肯定的な回答の割合が低いことである。この2項目は、昨年度も指導重点に掲げ達成指標に届かなかった項目であり、継続して改善に取り組んでいく。
- ・その他の項目についての教職員の振り返りにおいて、肯定的な回答の割合が80%に届かないものが散見され、今年度の課題を明らかにすることができた。

(2) 取組内容ごとの考察

ア 確かな学力

《概要》

指導重点に挙げた3項目の内、2項目については肯定的な回答の割合が90%を優に超し、達成することができた。その一方、「家庭学習の取組」については、生徒、保護者、教職員すべてで前年比を下回る結果となった。「個に応じた学習指導」、「朝学習の充実」、「テストやQ U分析」において職員の肯定的な回答の割合は80%を越すことができなかった。

《課題》

一部生徒の家庭学習の習慣化がはかれないことに加え、習慣化していても充実感を味わえるような取組になっていないことが生徒、保護者の回答から読み取れる。職員の肯定的な回答の割合が90%近くあり、生徒、保護者の意識との隔たりは依然として大きいことが読み取れる。

《来年度に向けて》

「家庭学習の目的」を「『学ぶことは楽しい』と思える生徒の育成」として、ドリルや予習・復習一辺倒の家庭学習からの脱皮を図るための研究を生徒・保護者も巻き込みながら行う。

イ 豊かな心

《概要》

指導重点の1つである「生徒の望ましい生活習慣づくり」において、保護者・教職員の肯定的な回答の割合が80%を超えることができなかった。

「充実した学校生活」と「いじめを許さない・させない指導の徹底」については、生徒・保護者・教職員共通して、大変高い割合で肯定的な回答をしており、正義が通る充実した学校生活が送れていることがわかる。

《課題》

「生徒の望ましい生活習慣づくり」について三珠中の生徒たちは日々落ち着いた生活を送っており、大きな乱れを危惧する状況ではないが、健康管理や学習習慣など細部に目をやると改善の余地が見られる。

「朝読書、委員会活動による読書活動推進」において、職員の肯定的な回答の割合100%に対する生徒の肯定的な回答の割合57%と大きく乖離している。毎朝の読書の時間、生徒たちは落ち着いて読書に勤しんでいるだけに何かちょっとしたきっかけで上方修正可能であると考えられる。

《来年度に向けて》

「生徒の望ましい生活習慣づくり」については、これまでの取組を継続しつつ、課題と感じている部分を焦点化し、生徒に考えさせる指導を心掛けていきたい。

「朝読書、委員会活動による読書活動推進」については委員会活動の周知を積極的に行いたい。

ウ 健康安全

《概要》

概ね達成できた。特に指導重点に掲げた「情報モラル教育の推進」、「避難訓練、交通安全等安全教育の充実」の肯定的な回答の割合が大変高かった。

《課題》

「安全で効果的な部活動の推進」では、冬季の活動時間の問題、顧問の出張による指導者の問題などが挙げられた。

《来年度に向けて》

日課表の工夫や出張を厳選するなどして、安全で効果的な部活動を推進していきたい。

エ 地域家庭連携

《概要》

生徒・保護者を対象とした設問においては肯定的な回答の割合が高かったが、教職員の「小中連携の推進」についての肯定的な回答の割合が60%を切っていて、表だっただけの連携を感じることができていない。

《課題》

小学校との連携はある程度、できている(年6回の管理職による三校連絡会・出前授業等)が、特に教職員はそれを実感できていない。職員への伝え方に課題を感じる。

町内小中学校の適正規模化の検討が進む中、小中連携の長期的なビジョンを持つことが難しい。

職場全体を巻き込んだ地域学校協働本部の活動ができていない。

《来年度に向けて》

小中連携については現在行っている取組を継続するとともに職員への周知を積極的に行いたい。

地域学校協働本部の活動については、現在、協働本部で行っている行事に関わる職員だけに限定することなく、学校・地域がWin-Winの関係になる取組を校内の全教職員はもとより、コーディネーターの力を借りて地域も巻き込んで企画・実行したい。